



2021年12月6日

会社名 岩崎電気株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊藤 義剛
(コード番号：6924 東証第一部)
問合せ先 取締役上席執行役員 加藤 昌範
(TEL 03-5846-9018)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日、プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

○ 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下に示すとおりとなっており、流通株式時価総額については96.2億円とわずかに基準を充たしておりません。

当社の流通株式時価総額に関しては、直近3カ月（2021年7月～9月）の平均株価をもとに算出すると、約116億円（当社試算ベース）となり、基準を充たしておりますが、以下に示す各種取組みを進めていくことで2022年3月期までに上場維持基準を充たしてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金	時価総額
当社の状況 (移行基準日時点)	—	58,321 単位	96.2 億円	74.5%	0.6 億円	—
上場維持基準	—	20,000 単位	100 億円	35%	0.2 億円	—
計画書に 記載の項目	—		○			—

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○ 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容

(1) 基本方針

当社は、経営ビジョン『光技術と新たな技術の結合で、社会・産業インフラを支える先進企業を目指します』を掲げ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して、事業領域の拡大、社会への新たな価値提供を実現してまいります。

その実現のため、以下の中期経営計画を着実に実行していくとともに、コーポレート・ガバナンスの一層の強化を図り、さらに IR 活動の推進・強化を行い、株主・投資家の皆さま向けの情報発信の充実を図ってまいります。

(2) 課題および取り組み内容

(課題)

当社は、流通株式数、流通株式比率では今般のプライム市場の上場維持基準に適合しておりますが、流通株式時価総額が基準に到達しておりませんでした。(ただし、2021年7月～9月の平均株価を用いると基準を充足しております。)

この要因としては、1株あたり純資産(3月末時点で4,128円)に対し、2021年4月～6月の平均株価が1,650円にとどまっており、企業価値向上に向けた取り組みが市場で十分評価されてこなかったことが要因と考えております。

(取り組み内容)

①中期経営計画

当社は11月1日、2022年3月期から2026年3月期を計画期間とする中期経営計画を策定・公表いたしました。

(ビジョン)

光技術と新たな技術の結合で、社会・産業インフラを支える先進企業を目指します。

(重点施策)

社会への新たな価値提供、持続可能な収益構造の確立に向け、「構造改革」「技術基盤の構築」「環境への取り組み」を重点施策に掲げて取り組んでまいります。

(事業展開)

照明事業	照明インフラに対するサービスビジネスの展開
光・環境事業	光技術を用いたサービス、メンテナンス事業の確立

(数値目標)

(百万円、%)

連 結	2021年3月期(実績)	2026年3月期(計画)
売 上 高	53,587	65,000
営業利益	2,941	5,200
営業利益率	5.5%	8.0%
自己資本利益率	6.8%	8.0%

その概要につきましては、以下の URL をご参照ください。

岩崎電気株式会社 中期経営計画：

<https://www.iwasaki.co.jp/corporate/ir/policy/midterm.html>

この中期経営計画に掲げた重点施策を着実に実行していくことにより、持続的な企業価値の向上を実現してまいります。

②IR活動の推進・強化

中期経営計画に掲げる企業戦略の具体的な取り組み内容や業績の進捗状況につき、株主・投資家の皆さまに向けて丁寧な情報発信を継続的に実施してまいります。

また、IR活動の対象先を増やすこと、非財務情報等の開示内容を充実させていくことなども含め、株主・機関投資家の皆さまとの建設的な対話を一層強化・推進してまいります。

以上